

# 平成30年度 第2回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成30年12月6日(木) 時間: 13時30分~15時10分
2 会場	南会津町御蔵入交流館 会議室2
3 出席者数	総出席者数 計 22名 (男性10名 女性12名)
(内訳)	学識経験者、家庭教育支援南会津の会、絆づくりの会、郡PTA連合会、郡小学校長会 南会津町民生委員、南会津町放課後子ども教室、下郷町学校図書館ボランティア 下郷町学校支援員、ただみコミュニティクラブ、企業代表、南会津保健福祉事務所 スクールソーシャルワーカー、南会津町教育委員会社会教育担当者 下郷町教育委員会社会教育担当者、檜枝岐村教育委員会社会教育担当者 只見町教育委員会社会教育担当者、南会津教育事務所(所長、次長兼総務社会教育課長 主任社会教育主事、指導主事兼社会教育主事、主事)
4 会議概要	<input type="radio"/> 事業経過報告 <input type="radio"/> 実践発表 <input type="radio"/> グループ協議
5 会議内容	<p>(1) 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 開会のことば</li> <li><input type="radio"/> 主催者あいさつ【 所長 佐藤 則之 】</li> <li><input type="radio"/> 日程説明・諸連絡</li> </ul> <p>(2) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 事業経過報告             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育事業(家庭教育)について 【 指導主事兼社会教育主事 猪股 克亘 】</li> </ul> </li> <li><input type="radio"/> 実践発表             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ「家庭教育に若い世代をどう巻き込んでいくか」【 主任社会教育主事 我妻 雄比古 】</li> </ul> </li> <li><input type="radio"/> グループ協議             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議の進め方について 【 主任社会教育主事 我妻 雄比古 】</li> <li>・ 協議</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【 テーマ : 「家庭教育に若い世代をどう巻き込んでいくか」について 】</p> <p>&lt;進め方&gt;            第1回ブロック会議で提示した、上記テーマに基づいた「南会津教育事務所としての取組」についての実践発表を受け、3グループに分かれ協議を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 取組に対する意見・感想</li> <li>② 「家庭教育に若い世代(父親・男性)をどう巻き込んでいくか」について</li> <li>③ その他</li> </ol> <p>&lt;協議の結果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 取組に対する意見・感想             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な研修会に、ブロック会議の意見を取り入れていただき、研修が有意義になった。</li> <li>・ 保育所での運動や遊びが、親子の学び応援講座のテーマにあり、嬉しくなった。</li> <li>・ 自分達のやりたいことではなく、それぞれのニーズに応じたきめ細かい活動、お疲れ様でした。</li> <li>・ まだまだ広報の仕方は少ないと思う。</li> </ul> </li> </ol> </div>



- ・ 様々な場所に実際に行き、状況を把握している所がすごいと思います。見習って頑張りたいと思います。
- ・ 家庭教育フォローアップ研修会の参加人数の増加は、現在のニーズに合っていることを示している。
- ・ 「親子の学び応援講座」「企業との連携」等、南会津の活動として躍進した。
- ・ 大勢の子育て世代が集まる、郡PTA研究大会での支援にねらいをつけたのは良かったと思う。
- ・ 本音が出やすいのは受け身の参加ではなく、ワークショップや茶話会等、積極的に加わられるような形式が欲しい。
- ・ チラシはもう少しスッキリできる。(文字は少なく絵・写真を多くする。)

## ② それぞれの立場から新たな提案

- ・ 幼児期から保護者へのアプローチが大切だと感じる。
- ・ 親子での遊びもコミュニケーションの一つ。
- ・ 若い世代の男性が食いつくようなテーマを考える。
- ・ 父の日に合わせフォローアップ研修会を行ってはどうか。
- ・ イクボスの講師に依頼する。
- ・ 少子高齢化による若い世代の負担増はないだろうか。
- ・ 親子での参加型研修により、父親も参加しやすくなるのでは。
- ・ 男性が「いいな」と思える生き方をしている人を講師に依頼する。
- ・ 男性が興味を引くようなテーマ（キャンプ・釣り等）をからめて研修会をしてみる。
- ・ 男性は女性の中に入って行きにくいので、父親限定のイベントの方が参加しやすい。
- ・ スポ少等とからめて、ケガ防止の講話等に親子で参加できればどうか。
- ・ 子育てに消極的だった男性は、家庭教育の参加は難しい。子どもが小さいうちから働きかけが必要だと思う。



## ③ その他

- ・ 子を想う気持ちが少しでもあれば参加すると思う。
- ・ 家読推進事業の一環として、家読推進プロジェクト代表の佐川氏を招いて、児童の保護者等を対象とした講演会を実施してはどうか。

## ○ 各グループからの発表

- ・ A～Cグループの代表による発表

### ○ まとめ

### (3) 閉会式

#### ○ 総括

【 次長兼総務社会教育課長 高橋 正敏 】

#### ○ 諸連絡

#### ○ 閉会のことば



## 6 成果・課題

### (1) 成果

- 学校教育課との連携により、第1回ブロック会議で「家庭学習スタンダード」についての具体的な説明や、郡PTA研究大会において義務教育課主幹をお招きして講演いただいたことにより、家庭教育関係者に幅広く周知することができた。
- 「家庭教育に若い世代をどう巻き込んでいくか」をテーマに、昨年第2回目のブロック会議より系統的に協議してきたことにより、課題解決に向けて具体的に実践することができた。
- 今年度の実践に基づき、参加者から様々な視点より感想・意見・新たな提案等が多数出されたので、それらを参考に実践していきたい。

### (2) 課題

- より多くの視点より「家庭教育の推進」について協議していただけるよう、参加いただく団体の選考や、参加しやすい日時の工夫をしていきたい。
- 企業研修の講演内容にもあったように、日本人の父親の育児時間や、家庭教育のかかわりは決して十分とは言えない状況であり、南会津地域においても同じ傾向にあると思われる。今後、本域内においても、「父親（男性）」をどう巻き込むかを考えていきたい。